文系情報系学部に新来日編入学した留学生への日本事情と情報分野の導入教育

和田 勉[†1]

概要：中国（一部は台湾および韓国）から新たに来日し文系情報系の学部に主に編入学した留学生に対する導入教育として実施している「日本事情」の授業について紹介する．授業の多くの部分は地元地域・日本全体・日本の風俗習慣などを扱うものだが，日本語での情報分野の用語など情報系学部であることを意識した内容も含む．同じ内容が日・英・中・韓の各国語で書いてある教材を使い日本語と母国語の両方で同じ内容を読ませることで，内容の理解と同時に日本語能力の向上も図っている．

キーワード：留学生，学部導入教育，中国，中国語

Introductory education about Japanese study and informatics for newly incorporated foreign students into a college of informatics in liberal arts

BEN TSUTOM WADA[†1]

Abstract: I introduce my class “Japanese Circumstances,” which is for fresh foreign students who newly come form mainland China (and a few from Taiwan and Korea) and enter the undergraduate course of informatics in liberal arts mainly as incorporated 2nd or 3rd year students. Although major part of this class consists of introduction of the local area where the university resides, of the whole Japan and of Japanese culture and custom, but in a part of the class I teach those contents such as vocabulary of informatics in Japanese language, which aim specifically for the students who belongs to the college for informatics. We use those textbooks in which the same contents are written in many languages, that is, Japanese, English, Chinese and Korean, and let those students read the same part both in Japanese and his/her mother language, so as to improve their ability of Japanese language along with their understanding of those contents.

Keywords: foreign students, undergraduate introductory education, China, Chinese Language

1. はじめに

長野大学（以下本学と呼ぶ）は社会福祉学部・環境ツーリズム学部・企業情報学部の 3 学部からなる．発表者の所属する企業情報学部（以下本学部と呼ぶ）はいわゆる「文系の情報系学部」であるが，現在の教育体制は情報・経営・デザインを「3 本柱」としており，授業やゼミはこの 3 分野に関するものがそれぞれに開講されていて学生が選択するようになっている．学生は必ずしも情報科学を学ぶ者ばかりではなく，経営やデザイン分野を選択する者も多く含まれている．

発表者は本学部において，情報科学分野や情報教育分野に関する授業・ゼミを担当する一方，外国から新規に来日して入学したばかりの留学生に対する「日本事情」という半年間 2 単位（週 1.5 時間 15 回）の授業も担当している．本学では「9 月入学協定校入試」といって，外国（中国）の協定を結んでいる大学に本学の教員が 6 月ごろに出向いて入試を実施しており，合格者は 9 月に来日し直接本学に入学する．これには学部 1 年次に入学するための入試もあるが，先方の大学で 2~3 年間学んだことを条件として 2 年次または 3 年次に入学する編入試が主となっている．どの入試に出願できるかは先方大学のどの部門に何年間在学したか，などの基準をこちらで決めている．なお日本語能力に関しては，能力の程度の高低はあるものの全く日本語ができない者の入学は許可しておらず，前記の入試では「日本語・基礎学力試験」と本学教員による面接で受験生の能力をチェックしている．

本学は基本的には半年で授業を終えるセメスター制をとっているものの，「プロジェクト研究」など 4 月開始で 1 年間を通じて行なう授業や，前期（4 月～8 月）の対応する授業を履修済の学生だけが履修できる後期（9 月～2 月）の授業も設置されている．このため前記の 9 月入学者は，2 年次中途への編入学（卒業までの最短年限 2.5 年）または 1 年次中途への編入学（同 3.5 年）の形を取り，入学した 9 月から半年間は本学が指定したいくつかの授業だけを受講

†1 長野大学企業情報学部
Faculty of Informatics and Buisiness, Nagano University

©2016 Information Processing Society of Japan

させる特別な期間とし，半年後の 4 月から通常のカリキュラムを履修させている.（人数は少ないが 1 年次入学者もおり，9 月から半年間は科目等履修生として在籍させ翌 4 月から正規学生となり都合 4.5 年間で卒業する.）この半年間に受ける授業には，一般の学生といっしょに受ける授業もあるが,「日本語」など当該学生たちだけのクラスで受けるものが多い．本発表は，この 9 月入学留学生が来日入学直後に受講するための授業のひとつで発表者が担当している「日本事情」に関し，その組立てや工夫を紹介するものである.

上記の事情からこの「日本事情」の受講学生は中国（大陸）からの学生がほとんどであるが，これ以外に別制度により半年～1 年の期間だけ本学に在籍する、台湾および韓国からの交換留学生が当該授業に参加することがある．担当教員は中国語と韓国語がある程度できるので，日本語に加えて必要に応じてそれらも用いて授業を進めている.

なお本学の学生数は全学 3 学部あわせて 1 学年約 340 名で，うち企業情報学部の学生は約 90 名である．これに上記の「協定校入試」に合格した学生 7~12 名程度が 1 年次あるいは 2 年次の 9 月から合流する．日本国内での編入学試験や韓国での協定校入試も行なっているが，これらの合格者は 4 月に編入学し、人数も 0~3 名程度である．国内の編入学試験も，受験者の多くは国内在住の留学生である．本学の他の 2 学部については，環境ツーリズム学部は学生数・留学生数とも企業情報学部とほぼ同様であるが，社会福祉学部は中国での協定校入試は行っておらず留学生も少ない.

2. 授業内容

この授業では順を追って以下の内容を扱っている．年度によって細かな差があるので主に 2015 年度の例を示す. なお，すべての授業において以下に書いたことと兼ねて日本語能力の向上（一般的な日本語能力，および情報分野を学ぶための日本語能力の両方）をも図っている.

(1) 第 1 回 日本地図パズル

来日来学を歓迎する担当教員（発表者）のあいさつ，授業の進行の説明のあと，授業の手始めとして日本の地理と行政区分などを紹介し，日本地図のジグソーパズルをさせる（図 1）. また後述する自作の「コンピュータ・情報関係用語日－英－中対応表」（図 7）もこの時配布する.

(2) 第 2 回 学生各自自己紹介

各自にあらかじめ日本語で原稿を用意してこさせ，それをもとに口頭で自己紹介をさせる．またその原稿も提出させる．日本語としておかしな表現などは担当教員が口頭および原稿への書き込みで指導する.

(3) 第 3 回～第 6 回 日本語と母国語による地元地域の紹介文書

地元（長野県上田地域）を紹介した，日・英・中（簡体字および繁体字)・韓の 5 言語でほぼ同一の内容が書いてある 16 ページからなるパンフレット（図 2）を用いる．輪番で一人 3~5 行程度の箇所を読ませるが，その際，まず日本語を読ませ，次いで母国語（中国語）の同一内容部分を読ませる.（韓国人学生がいる場合は韓国語でも読ませる.）こ

図 1 第 1 回授業：日本地図のジグソーパズル

Figure 1 The 1st hour: Jigsaw puzzles of Japan.

図 2 ようこそ！長野 上田地域へ[1]

Figure 2 Welcome to Nagano Ueda area, Japan!

図 3　Hello JAPAN /你好，日本/ 안녕 일본 '08/'09**[2]**

Figure 3

れは日本語能力の向上と同時に内容の正確な理解を狙っている．

(4) **第 7 回～第 12 回 日本語と母国語による日本事情の紹介文書**

日本全体を紹介した，日・英・中（簡体字）・韓の 4 言語でほぼ同一の内容が書いてある 64 ページからなる小冊子(図 3）を用い，(3)と同様のことを行う．なお 64 ページすべてではなく約半分のページのみ用いている．

(5) **第 13 回～第 14 回 富士通テクノロジーホール文書**

富士通テクノロジーホール（神奈川県川崎市）での同社の技術開発の歴史を記した文書[3]（日・英・中で同一内容のものを入手済）に関して，(3)(4)と同様のことを行なう．

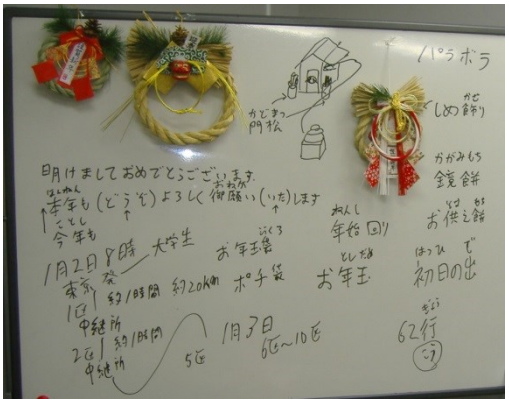

図 4　日本の正月の習慣の紹介

Figure 4　Intdocuction of Japan's New Year's custom

図 5 日本語教材の例

Figure 5　Example of learning source for Japanese language

(6) 第 14 回～第 15 回　各人の感想発表

ここ(1 月中旬)までで, 前年 9 月に来日入学後およそ半年経過している．ここでは日本・本学・この授業での半年の受講・生活の経験から感じたことを，各自が事前作成した原稿をもとに日本語で話させる．

(6) **その他**

以上は大筋としての流れであるが，その中に日本の習慣になどについての「旬のネタ」のトピックを挿入している．たとえば 1 月最初の回にはしめ飾りや門松(図 4)を紹介し，また例えば日本各地の土産品(図 5 :「白い」と「面白い」，「雪だるま」と「だるま」など)も日本語学習の「ネタ」にしている．

3. 情報分野に関する教育内容

これまで述べたように，この授業内容の多くの部分は情報分野と特に関係のない内容が占めている．これは当該留

©2016 Information Processing Society of Japan

学生たちにとって学ぶ必要性が高いと判断したからだが，しかしその一方，情報系学部の学生として当該分野の勉強を行なっていくことへの配慮も必要である．もちろん授業は日本語で行なうのだが，彼らは一方で中国語による情報分野の資料なども読んで学ぶし，また卒業後は母国に帰国，あるいは日本にとどまる場合でも母国に関係のある情報分野の業務を行なう者も多い．これらのことに配慮し，この授業では以下のそれぞれの勉強も含めている．

(1) **コンピュータ・情報関係用語日－英－中対応表**

自作の「コンピュータ・情報関係用語日－英－中対応表」(図7)を配布する．輪番でこの表の日本語と母国語を音読させた年度もあるが，2015年度は第1回に配布しただけとした．これは配布した際の学生の反応から，輪読の必要性がやや低いと判断したためであり，翌年度もそのつど学生の反応から輪読するかどうかそのつど判断するつもりである．

(2) **富士通テクノロジーホール History Zone 説明文書**

第2節にも記したように，富士通テクノロジーホール（神奈川県川崎市）での同社の技術開発の歴史を記した2ページの文書[3]（日・英・中・韓のほぼ同一内容のものがある）を日本語と母国語で読ませ，情報分野の日本語の学習の一環とする．

(3) **日本の情報分野の教科書**

大学一般情報教育向け教科書「情報とコンピュータ」[4]や，日本の高校共通教科情報科の教科書の一部を輪読した年度もある．これらは日本語でしか書かれていないので母国語でも読ませ内容を確認させることはできなかった．なおこれはもともと「あと余った時間でできる範囲で」というつもりの内容であるため，2015年度はたまたまその前の内容で授業予定が進まず実施していない．

4. 外国人の名前の表記・発音

中国人や韓国人の名前を日本でどう表記するかは単純ではなく，単純に「外国人ならアルファベットで」では済まない．もちろんみなアルファベットでの名前の表記法はあるが，英語圏などアルファベット使用圏の人の場合とは違い，それは彼らにとって「外国で使う表記」であり日常使用しているものではない．

中国語圏の人の名前を日本で書く場合は漢字で書くことも広く行われているが，中国（大陸）で使われている簡体字と日本語の漢字はかなり異なる．日本で名前を簡体字で書くか日本語漢字で書くかは一長一短である．日本で記名する際に単に「漢字で」とだけ指定されることは多く，その際には簡体字で書く者と対応する日本語漢字で書く者が混在する（そして一般の日本人にはどちらなのか認識できないことも多い）という実務上の問題もある．またそれをどう読むかも問題であり，広く行われているのはその漢字の日本語での読み方で読むことだが，これは本国で本人が使っている読み方とは異なる．（もっとも中国国内でも，共通語と方言での読み方を場合により本人も使い分けることは多い）．

学籍番号	日本語漢字氏名	日本語ひらがな氏名
J15000	劉 長野	りゅう　ながの
	中国語簡体字氏名	中国語ピンイン氏名
	刘 长野	Líu ChángYě

学籍番号	日本語漢字氏名	日本語ひらがな氏名
R15000	洪 吉童	ほん ぎるとん
	韓国語ハングル氏名	アルファベット氏名
	홍 길동	Hong GilDong

図 6 学生の名札の例

Figure 6　Student's Nameplate (Example)

韓国人の名前を日本で書く場合はカタカナ表記と漢字表記が混在しているのが現状だが，実際には韓国ではほとんど漢字は使われておらず，またいまは漢字で表わせない個人名もある．中国と違って漢字ではなく名前の発音（とそれを表すハングル表記）に名前のアイデンティティーを感じる場合が多いので韓国語で発音すべきだが，漢字で表記されているとそれは簡単ではない．

本授業では図6のような名札を用いている．上は中国（大陸）の，下は韓国の学生用であり，上記の混乱を防ぎ，また名前の本国での正しい発音も確認するようにしている．

5. 各論

留学生が，日本人を主とする日本育ちの学生（以下では単に日本人学生と書く）と異なるのは，まず当然ながら日本語の言語能力である．もちろん日本人学生でも「国語力」に問題のある学生は多いが，ともかくも日本語ネイティブスピーカーである．留学生は（9月からの半年間の準備期間を過ぎたら）日本人学生に伍して各授業で学ばなければならない．もちろん母国語と日本語の二か国語話者であるというアドバンテージは当然あるのだが，すべて日本語で行なわれる通常の各授業での学習ではそれを直接生かす機会はあまりない．

この「日本事情」の授業を担当するにあたって考えたことは，はじめて日本に来た当該留学生たちが，これから日本で学生としておよび生活者として過ごすにあたって，ともかく何であれ（情報分野のことであれそれ以外であれ，学問・学習に関することであれそれ以外であれ）必要性の高いものを扱う，ということだった．その結果，情報の学部の授業でありながら情報分野の事項はあまり重きをおか

©2016 Information Processing Society of Japan

ないものになってしまったが，そのことはやむをえないと考えている．

初等中等教育における情報教育の軽重や内容の傾向は国ごとに異なるはずだが，留学生を他の授業等で教えた限りではあまり差異は感じない．基本的に専門科目の授業では，日本人学生であれ留学生であれ，特定の知識・素養は前提とせずに授業を行なっている（むしろそのような知識・素養を前提とすることは難しいような学生が大半である）．

なお私は，自分が担当する専門科目（現在は「アルゴリズムとデータ構造」および「コンピュータアーキテクチャ」を担当）においても，中国語圏からの留学生が 1 人でもいる場合は，専門用語を紹介する際はできるだけ日本語と英語の他に中国語でも紹介している．（例えば「2 分探索」と板書する場合は“Binary Search”と“对分搜索”と併記する．）

留学生教育はもちろん発表者の専門ではないが，あえて言えば，情報分野をバックグラウンドとしこのような分野を副業（ないしは趣味）としている者が行うことで，留学生教育の専門家によるそれとは一味違うことができているかとも思う．

この授業内容は非常に属人性が高い．すなわち，日本語と中国語をある程度解し，かつ情報分野についても一応の素養のある教員にのみ実施できる内容である．もともと汎用的な授業内容にすることは全く考えず，自分が担当するという前提のもとで，自分に教育・指導が可能なあらゆる内容・手法のうちから留学生にとって最も良い授業を，とだけ考えて組立て実施してきた結果であり，担当者が代われば内容も大きく変わらざるを得ないであろう．

とはいえ、同様の能力を持つ教員がいない場合でも実施できる部分はある．例えば図 7 のような文書を作成することは中国語もある程度解する者でなければ困難だが，これを使って留学生に各国語で音読させるだけなら中国語を解さない教員でもできる．例えば「中国語に興味はあるがまだ学んだことはない情報分野の教員」がこのような授業の担当者になった場合に，資料 7 のような資料を使って日本語の用語を教えつつ，教員も同時に各単語の中国語訳の発音を留学生から学んで進めていくのも興味深いかもしれない．

6. 終わりに

2016 年度からは「環境ツーリズム学部」へ同様に編入学した学生もいっしょに教える予定（2015 年度まではクラスを分けて別の教員が教えていた）であるが，例え専門外の学生に対してでも一般情報教育としての意義はあることから，情報分野の色彩は残しつつ一定の配慮をした内容にしてゆきたい．

前述のように 9 月入学の留学生は，この「日本事情」などで学んだあと，半年後の 4 月からは 2 年次あるいは 3 年次になった一般の学生に合流して学ぶ．しかし 4 月から「プロジェクト研究」（ゼミナール．工学系の研究室組織に近いもの．）を選ぶ際，基本的に学生が自由に選べるのだが，この「日本事情」を受講した留学生の過半数は私のものを希望する．いっぽう日本人学生で私の「プロジェクト研究」の履修を希望する者は（理由は不明だが）ほとんどいないため，これももう一つの留学生ゼミのようになっている．こちらでは，Computer Science Unplegged[5]の日本語版・中国語版・英語版を使い，日本語版と母国語版（および読める者は英語版も）を音読させて学習を進めている．なおスペイン語話者（日本語との二か国語話者）の学生がこの「プロジェクト研究」にいたことがあり，その際はスペイン語版も音読させていた．また現在，中国の中でも広東語圏からの留学生がおり，当該学生には中国語版を中国共通語だけでなく広東語でも音読させている．

謝辞　各資料を作成なさった当該機関と関係各位に感謝する．使用形態が著作権上の例外事項（教育機関における複製）に該当すると判断し特に連絡をとってはいないが，英語のみならず中国語や韓国語も含めて同一内容が記されている資料は（作成者の想定外の使用法ではあろうが）このような留学生教育にはたいへん助かっている．

なお，[2]は以前は毎年発行・無料配布されていたようだが，現在は絶版になっており以前の版の新規入手も困難になっている．ぜひ新規版の作成配布を願う．

参考文献

[1] ようこそ！長野 上田地域へ /Welcome to Nagano Ueda area, Japan! /欢迎光临日本长野上田地区!/ 歡迎光臨日本長野上田地區! /어서오세요! 일본 나가노 우에다 지역에. 上田地域広域連合, 16p.

[2] Hello JAPAN /你好，日本/ 안녕 일본 ‘08/’09 パスポート副読本 No.21. .日本政府観光局（JNTO）産経新聞社，発行：メイク・フレンズ・フォー・ジャパン.

[3] History Zone. 富士通テクノロジーホール（富士通川崎工場内）案内パンフレット（日本語版，中国語簡体字版，中国語繁体字版，韓国語版，英語版）富士通株式会社.

[4] 河村一樹，和田勉，山下和之，立田ルミ，岡田正，佐々木整，山口和紀．情報とコンピュータ，オーム社，2011 年，165p.

[5] Tim Bell, Ian H. Witten, Mike Fellows: Computer Science Unplugged, 2010. （日本語版：兼宗進監訳，イーテキスト研究所，中国語版：谢夏 訳，韓国語版：이원규監修，スペイン語版：Alfonso Rodríguez, Lorena Mendoza y Clara Eugenia Garza 訳）

©2016 Information Processing Society of Japan

図 7 コンピュータ・情報関係用語日－英－中対応表 (部分)
Fig.7 Japanese-Chinese-English Dictionary of Computer/Information Vocabulary (part)

コンピュータ・情報関係用語　日－英－中　対応表 关于电脑和信息的单词 日－英－中 对应表		2015.09.18 Ver.12
アーキテクチャ	architecture	体系结构
アイコン	icon	图标
アカウント（ログイン名）	account (login name)	注册名
アクセス	access	存取；访问
アステリスク（アスタリスク、星印）	asterisk (*)	星号（*字符）
アセンブラ	assembler	汇编器
アドミニストレーション	administration	管理
アドレス	address	地址
アナログ	analog	模拟
アプリケーション（アプリ）	→アプリケーションソフトウェア	应用软件
アプリケーションソフトウェア	application software	应用软件
アポストロフィ（一重引用符）	apostrophe (')	（' 字符）
アルゴリズム	algorithm	算法
アルファベット	alphabet	字母
イメージ	image	图像
イメージング	imaging	图像化
インターネット	internet	因特网络
インターフェイス（フェース）	interface	界面
インデックス	index	索引
インデント（インデンテーション）	indent (indentation)	缩排
ウィルス（ウイルス）	virus	病毒
ウィンドウ	window	窗口
ウィンドウズ	windows	窗口（微软）
ウェブ	web	(Web)
ウェブページ	web page	网页
エディタ	editor	编辑程序
エンジニア	engineer	工程师
エンジン	engine	引擎
オートメーション	automation	自动控制
オフ	off	关
オプション	option	选项
オペレーティングシステム(OS)	operating system	操作系统
オン	on	开
オンライン	online	在线
オンラインショッピング	online shopping	网络购物

カーソル	cursor	光标
カード	card	卡
カーナビ（カーナビゲーション）	car navigation	汽车导航定位
：	：	：

©2016 Information Processing Society of Japan